

## 令和5年度広陵町地域公共交通活性化協議会事業報告（案）

資料2-1

①評価内容	②実施概要	③事業の改善点・方針
<p><b>●広陵町自家用有償旅客運送「のるーと広陵元気号」の導入</b> 地域公共交通のマスター プランとなる「広陵町地域公共交通計画」（令和3年度策定）及びアクション プランの「広陵町地域公共交通利便増進計画」（令和5年10月策定）に基づき、一般乗合旅客自動車運送事業「広陵元気号北部・南部支線」を自家用有償旅客運送「のるーと広陵元気号」に再編した。</p>	<p><b>【実施内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再編に伴い以下の利用環境等を整備。 特設ホームページ改修、標柱・路面標示の設置、利用パンフレットの作製 予約システム構築、電話受付オペレーターの体制構築、車両入替に伴う車両借上</li> <li>乗降場所の設定について、各区・自治区と調整（必要な場合のみ）。</li> <li>システム操作・乗り方説明会について、校区別や要望があった区・自治区で開催（34回・延べ877人参加）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライバー不足、利用者ニーズに合った乗降場所の設置という課題に対して、車両をダウンサイジングすることにより、普通二種免許保有のドライバーでも運行できる体制づくりと、よりきめ細やかな乗降場所の設置を可能とする。</li> <li>さらなる利用者確保のため、プロモーションコード（割引クーポン）等を用いた利用促進を行う。</li> </ul>
<p><b>●「広陵元気号中央幹線」の運行ルート・ダイヤの見直し</b> 従前運行している「広陵元気号中央幹線」について、運行ルート・ダイヤの見直しを実施。 【見直し内容】 ・利用するのに不便であった国保中央病院までのルートを改編し、併せて百済地域の住民を通勤・通学時間に大和高田駅に送り届けられるように、運行時間を拡大し、停留所・便数を増加させた。 ・再編後の7月～9月までの試行運行期間中に利用者からニーズを収集し、10月から日中も百済地域を運行するように運行ルート・ダイヤの見直しを行った。</p>	<p><b>【実施内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運行ルート・ダイヤの見直しに伴う以下の利用環境を整備。 バス停標柱の設置・改修、運行アナウンスデータ作製、利用パンフレットの作製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行ダイヤについて、夕方の便に遅れが生じているため、令和6年10月を目標にダイヤの改正を行う。</li> <li>百済寺公園北の停留所について、百済寺公園での乗降ニーズがあることから、令和6年度中に検討を行う。</li> </ul>
<p><b>●広陵元気号利用ポイントカードの配布</b> 町内の商業施設と連携し、無関心層の取り込みを行った。 <b>【実施内容】</b> 「広陵元気号」の利用でポイントが貯まり、20ポイントで協賛店舗の指定商品と交換できるカードを配布（平成29年11月から継続中） <b>【協賛8店舗】</b> 「イズミヤ広陵店」「エコール・マミ」「エバグリーン広陵店」「コープなんごう」「スギ薬局」「DCM広陵店」「よってって広陵店」「長龍ブリューパーク」</p>	<p><b>【ポイントカード協賛店舗】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度から「DCM広陵店」、「よってって広陵店」、「長龍ブリューパーク」を新たに追加</li> </ul> <p><b>【ポイントカード回収枚数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合計：473枚（令和4年度 635枚） (内訳) イズミヤ広陵店：157枚、エコール・マミ：191枚、エバグリーン広陵店：121枚、 コープなんごう：2枚、スギ薬局：2枚、DCM広陵店1枚、よってって広陵店：5枚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度については令和4年度と比較して約26%回収率が減少となった。要因として、「のるーと広陵元気号」でもポイントカードが利用できることを知らない方がおられたことが考えられる。今後は、新規利用者の獲得に加えて、「のるーと広陵元気号」でもポイントカードを利用できる旨、車内掲示等で周知を行う。</li> <li>モビリティマネジメントの観点から協賛店舗の拡充を図り、無関心層の取り込み、既存利用者の更なる満足度の向上を図る。</li> </ul>
<p><b>●府内部局との政策間連携</b> 【広陵元気塾】 毎月開催されている広陵元気塾に訪問し、健康関心層に対して、広陵元気号の再編内容の説明及び利用促進を行った。 【老人クラブ】 「のるーと広陵元気号」導入に伴い、各大字毎に開催されている老人クラブに訪問し、広陵元気号の再編内容の説明及び利用促進を行った。 【いのちを守るまちづくりイベント】 「いのちを守るまちづくりイベント・広陵かぐや姫まつり」</p>	<p><b>【広陵元気塾参加者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間：1,361人（令和4年度：1,096人）</li> </ul> <p><b>【老人クラブ参加者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>13回・延べ301人参加</li> </ul> <p><b>【いのちを守るまちづくりイベント参加者数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>386人（令和4年度はイベント未開催）</li> </ul> <p><b>【かぐや姫まつりアンケート配布数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>84人（令和4年度以前は実施せず）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、府内部局と政策間連携を行い、利用促進を図る。</li> </ul>
<p><b>●「広陵元気号」イラスト募集</b> 「広陵元気号」が地域の公共交通であることを子どもたちに伝えるとともに、その保護者にも広陵元気号の周知を行った。</p>	<p><b>【実施内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内小学校5校の児童（6年生※広陵北小学校のみ5年生）から、「広陵元気号」のイラストを募集</li> </ul> <p><b>【応募作品数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5校合計：233作品 各小学校で最優秀作品1点、優秀作品2点ずつを選定した。 最優秀作品は紙ファイルに印刷して児童に配布。 また、最優秀賞及び優秀賞作品は図書館へ展示し、元気号車内にも掲示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度実施予定の「のるーと広陵元気号」車両のダウンサイジングに伴い、広陵元気号に愛着を持ってもらうため、車両ラッピングのデザインを町内小学校から募集する。</li> <li>引き続き、町内小学生に対して「広陵元気号」が地域の公共交通であることを伝え、認知度向上や利用促進を図っていく。</li> </ul>
<p><b>●バスの乗り方教室の実施</b> 小学6年生（広陵北小学校のみ5年生）を対象に公共交通機関の一つであるバスについての知識を深め、公共交通のあり方を伝える講座を開催し、バスの利用促進を行った。</p>	<p><b>【実施内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例年実施しているバスの基礎知識、乗車方法、交通安全に関するバスの乗り方教室に加えて、「のるーと広陵元気号」の説明を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、町内小学生に対して、状況に応じた周知・利用促進を行う。</li> </ul>